



苦小牧市文化団体協議会

-令和5年1月10日-

No.133

しかし昨年末からの規制緩和により、人と物の動きが活発になるに比例して感染者が急増していることも忘れてはなりません。ワクチン接種率が上昇し、経口治療薬が認可され、世相はウイズコロナへ向かいつつありますが、高齢者や持病がある方は油断できない状況にあること変わりありません。だからと言ってコロナを過剰に恐れては芸術・文化の灯は小さくなるばかりという矛盾に突き当たります。

今、文化団体協議会の大きな課題としては、高齢化による会員の減少と次世代を担う人材の育成があります。団体の中核を担ってきた方々の高齢化は活動力を低下させるだけでなく、時として団体の存続そのものを危うくしています。

二〇二三年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナについての規制緩和もあり、文化・芸術活動も二年ぶり、三年ぶりの開催が行われた事業があつたことを嬉しく思いましたし、全体的にも一年よりは事業が展開されたと思っています。これも会員や関係者が感染予防策のために大きな努力を積み重ねた結果であります。改めて敬意を表します。

く展示部門も従来とは異なる環境に対応する方策を考えていかなければなりません。さらにこれらを契機として、市民文化祭が市民に広がり、参加する楽しみにつながっていくことができれば、文化活動は一層充実したものになると確信しています。そのためには、それぞれの団体が市民を巻き込む企画を立案し実行していくことが必要になります。

今年の市民文化祭は第七五回を迎えます。それぞれの団体が四分の三世紀の節目の年の文化祭にふさわしいような新たな取り組みにチャレンジしていただきたい。皆様のご理解とご協力を願い申し上げ、新年にあたつての決意を込め、ご挨拶いたします。

もう一つは市民文化祭の見直しです。ご存じのように学校現場の「働き方改革」により教文研が廃止となり、市民文化祭の総合展示での小中学生の作品展示が難しくなりました。それに比例して入場者も減少し、会場内に子どもたちの姿が少なくなりました。とても寂しいことです。

苦小牧の文化施設の環境は、市民ホールの建設、総合体育館の建て替えなどが予定されており、ステージ部門だけでな

頭のご挨拶
あけましておめでとうございます

會長 林 廣 志

苦小牧市文化団体協議会

福中小齋内林遠沼宮星鈴成會佐本木佐碓赤門若向坂坂工原迎若杵青南佐伊伊山北松山大白山小今林
田條形野田 藤田脇野木田根藤江村藤井崎田柳井上東藤田 山家山 野藤藤崎川原上澤岩田林田

範誠伊克隆俊泥惇恒臣富惠公松正慈節和しあ美真登美三賀博七榮史幸逸喜雅道敏孝尚美幸 和廣
知 貴 ほ 三賀理喜 美 久 知
正広也郎之光二舟子隆子子子毅美彦子子代り甫子子春惠嗣子文裕子枝子榮夫薰行行行洋子雄充史志

文化部長 ステージ部長	展示部長	苦小牧詩吟団体連合会 苦小牧三曲会	苦小牧地区民謡連合会 苦小牧江差追分連合会 苦小牧創作舞踊連盟	苦小牧劇協議会 苦小牧牧場樂協会 苦小牧音楽連盟	苦小牧吹奏樂連盟 苦小牧軽音楽連盟 苦小牧合唱連盟	苦小牧日本舞踊協会 ダンスプロジェクト	バレエアーティスト連盟	日本舞踊 旭甫会	J-DRANCE STUDIO Setsu's 苦小牧書道連盟 苦小牧写真連盟 苦小牧筆道連合 苦小牧陶芸協会 苦小牧手芸連盟 苦小牧美術協会 表千家苦小牧和敬会 裏千家淡交會苦小牧支部 苦小牧絵手紙の会 苦小牧みすゑ会 苦小牧文芸くらぶ 苦小牧俳句協会 苦小牧柳社 苦小牧短歌クラブ 宮沢賢治と苦小牧の会 苦小牧郷土文化研究会 日本将棋連盟苦小牧支部 文化交流センター／サークル連盟
----------------	------	----------------------	---------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	------------------------	-------------	----------	--

A vertical banner for the New Year. The top half features the characters '頌春' (Song Chun) in large, bold, black calligraphy. Below them, the text '令和五年新年' (New Year of Reiwa 5) is written vertically. The bottom half contains a traditional illustration of a carriage pulled by horses, with figures in traditional attire. The entire banner is framed by a decorative border of autumn leaves.

第74回 苫小牧市民文化祭

10月1日~11月20日



市民俳句大会



市民短歌大会



市民交流围棋大会



市民川柳大会



カルチャー&ミュージックフェス



はすかっぷ演劇祭



市民交流将棋大会



植苗地区文化祭





勇払地区文化祭



音楽発表会



洋のステージ

表彰式

苫小牧市民文化祭 表彰式



市長賞



教育長賞



実行委員長賞



市民文芸奨励賞



感謝状

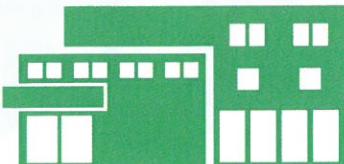


ちょいと一句賞

苦小牧市民文化ホール

2026年3月のオープンを目指している市民文化ホールは、市民会館、文化会館、労働福祉センター、交通安全部が統合される複合施設です。文団協として、市長、市議会議長に対し、施設利用料金等についての要望書も提出していますが、今回、現在提示された新市民文化ホールの使用料と既存市民会館・文化会館の使用料を、「紙の街の小さな新聞社ひらく」の山田氏により比較してみました。

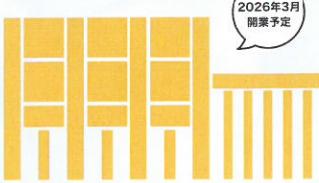
苦小牧市文化会館ホール (480席)



冬 41,925円
夏 29,250円

※チケット代千円の公演を休日1日借りて行う場合のホール使用料(上限料金)比較

新市民文化ホール B(小)ホール(400席)

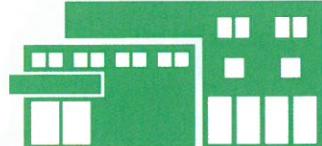


一律93,700円
※減免・助成内容未定

2026年3月
開業予定

既存施設の利用料金と新市民文化ホール上限額との比較

苦小牧市文化会館ホール (480席)



新市民文化ホール 小ホール(400席)



5月中旬～10月中旬(夏)の休日午前に使用する公演例

チケット代	文化会館	新文化ホール小	値上げ幅
~500円	7,800円	15,600円	2.0倍
501～1,000円	7,800円	23,300円	2.0倍

10月中旬～5月中旬(冬)の休日午前に使用する公演例

チケット代	文化会館	新文化ホール小	値上げ幅
~500円	10,725円	15,600円	1.5倍
501～1,000円	10,725円	23,300円	2.2倍

10月中旬～5月中旬(冬)の休日1日間使用する公演例

チケット代	文化会館	新文化ホール小	値上げ幅
501～1,000円	41,925円	93,700円	2.2倍
1,001～2,000円	57,525円	125,000円	2.2倍

※活動室(会議室)の市民会館と新市民文化ホールの料金比較では面積が小さな部屋ほど安くなり、半額近くなる部屋もある。

※ギャラリーは1m²あたり新市民文化ホール1日72.36円。市民活動センターは夏12円、冬18円、アイビープラザは夏19円、冬28円。

苦小牧市民会館 大ホール(1,630席)



新市民文化ホール 大ホール(1,200席)



10月中旬～5月中旬(冬)の休日午後に使用する公演例

チケット代	市民会館	新文化ホール大	値上げ幅
501～1,000円	83,200円	94,200円	1.1倍
1,500円の場合	96,480円	125,600円	1.3倍

その他の比較

5月中旬～10月中旬(夏)の休日午後に使用する例

チケット代	市民会館小ホール	新文化ホール小	値上げ幅
~500円	12,200円	20,800円	1.7倍

チケット代	市民会館小ホール	新文化ホール多目的	値上げ幅
~500円	12,200円	14,100円	1.2倍

※新市民文化ホール多目的室は約250m²

チケット代	労働福祉ホール	新文化ホール多目的	値上げ幅
~500円	4,200円	14,100円	3.4倍

※労働福祉センターホールは362m²。比較例は労働団体の場合。

労働団体以外(8,400円)が1.7倍

パブリックコメントの市民意見と市の回答(利用料金に関するものから一部抜粋)

市の解答

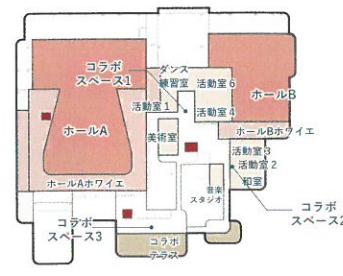
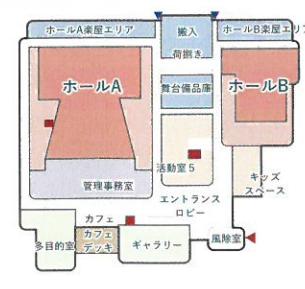
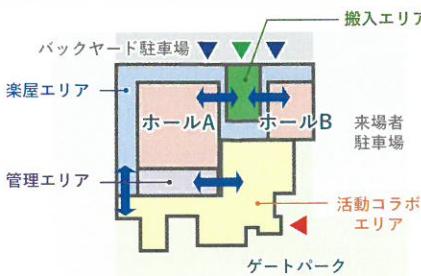
(※左記の意見に対し、同じ回答)

使用料は、冷暖房料を含めて設定しておりますが、算定にあたっては、今後50年を見据えて市民の皆様にご利用いただくための施設整備費用や維持管理費用をもとに、できるだけ低額となるよう努めてまいりました。

一方で、将来の人口減少の進行を踏まえ、利用者の皆様のご負担を検討する中で、最新の機器を整備し、長期にわたり質の高い利用環境を提供することで使用料に応えることができるものと考えております。

本施設の整備、運営にあたっては、市民の皆様に御利用頂きやすい施設となるよう努めてまいります。

機能的で利便性の高い平面計画



市民が安心して使える施設とは

利用者の考え方と市の考え方

新市民文化ホールB
ホール(400席)を使用することになるのは、文化会館ホール(480席)の利用団体が主になると見られる。

文化会館使用料は、人口同規模の他市のホールと比較しても安い(ただし例えば、帯広市民文化ホールは市内団体は半額減免になるなどの制度がある)。文化会館が開館したのは1979(昭和54)年。人口が伸びる中、さまざまな文化団体の活動が活発になり、利用料が高い市民会館に對し、気軽に利用できる施設を求める声が出て市は建設を決めた。

「文化会館は、十五万苦小牧市民が気軽に利用し、お互いの交流を深める中で、地域文化の創造を」というも

の。それだけに市民の各文化団体などが利用する場合には、使用料も極めて安く」なつていると、苦小牧民報（昭和54年9月8日付）が報じている。

文化会館を統合し、新市民文化ホールにしようとする中で、この理念はどう整理されたのだろう。「高くした」と思って、この料金設定にしたわけではありません。ですが、人口が増加していく時代ではない。財政的なものを考えながら、持続可能なまちづくりを進めていくための取組」であると、これまでの市民説明会などで市は説明してきた。

30万人都市を目指した苦小牧は、人口が17万人台を割り込み、今後の税収減は目に見え

施設を使用しない市民もいる中で、利用者に一定の負担を求める「受益者負担」という考え方方に立ち、可能な限りの減免制度を検討していく――というのが市の考え方だ。

市民ホール建設準備室は「多くの方に使用してもらい、施設の稼働率を上げていきたい。良く利用される施設にするということと、利用料金を安く設定するということは、必ずしもイコールではないはず。設備等を充実させることで、「使いたい」と思つてもらえるような施設にしていきたい」という。

利用料金（上限額）には、長く、運営することを考えた時、最低限のラインがあつた。その中で最大限、低く

団協事務局は「新市民文化ホールは、事業者収益のことばかり中心になつてゐる印象を受けてゐる。「世界レベル」『東京から呼ぶ』という以前に、市民の文化活動の場であると、いう土台の考え方が、市、事業者と私たちと根本的に違うのではないかと感じる。利用者目標で市民が安心して使えることを考えて欲しい」と求める。

苦小牧市民文化ホールに思うこと

苫小牧は「文化不毛」ではない。この地では過去、戦争という困難な時代にあっても、文化は脈々と生き続け、途絶えることは無かった。そして、作物の育ちにくい火山灰の原野で、厳しい海風に吹かれながらも少しずつ根を伸ばし、今に受け継がれてきたのが、苫小牧の文化だ。

コロナ禍になり、わたしたちが実感させられてるのは、文化がいかに人の心を支え、癒し、困難な中で生きる希望を与えるものであるかということ。ステージや展示場で、人々が文化芸術をつくりあげ、それらを観賞する喜び。温かく、豊かな営みを記者として見てきた。まちづくりは人づくり。「人」をつくっていくものは「文化」であるとわたしは考えている。そして、人と人をつなげるのも文化である。人は、つながりがあれば孤立せず生きていける。これからさらに厳しい時代にこそ、文化が必要なのだと思う。

新市民文化ホールの料金設定は、補助や減免がまだ確定していない状況ではあるが、人々が紡いできた文化の瓦解につながりかねないと危惧を抱いている。それは、つながりの断絶でもあるし、歴史と、子や孫の世代に受け渡すべき希望の断絶でもある。行政の役割とは何か。そのことを、これからも追求し続けていきたい。

紙の街の小さな新聞社ひらく 山田香織



編集後記

苫小牧市民文化ホールが2026年にオープン予定ですが、本紙にも記載したように、施設使用料金が高くなります。

文団協は、市民会館・文化会館の利用では、各加盟団体免除枠の中で対応していますが、聞くところによると、免除・減免ではなく、補助による助成でと考えているようで、そうなると今までと違い、安心して使用できるかが心配なところですね。どうなるのでしょうか～(汗)。不安です。

さて、今年の干支は、「卯」です。「卯」は穏やかな、うさぎの様子から安全、温和の意味があり、うさぎのように跳ね上がるという意味から、縁起がよく、希望にあふれ好転する良い年になると言われているようです。

2023年はコロナ禍も去り、これまでの努力が実を結び、飛躍する一年になるよう頑張って行きましょう。

文化基金へのご協力に感謝！

文化基金へのご協力、ありがとうございました。
会報132号以降のご寄付は下記の通りです。

(令和4年6月1日～令和5年1月10日)

記

◎苫小牧演劇協議会	3,000円
◎J DANCE STUDIO Step's	4,000円
◎高崎流親昇民謡連合会	5,000円
◎苫小牧日本舞踊協会	50,000円
◎舞踊むつみ連合会	5,000円
◎青翔中学校吹奏楽部	5,000円
◎吉松派若柳流旭甫会	30,000円
◎苫小牧三曲会	10,000円

文団協「はばたき」No.133

発行日／令和5年1月20日

発行所／苫小牧市旭町2丁目8番19号 文化会館内

苫小牧市文化団体協議会

発行者／会長 林 廣志

編集者／事務局長 松原 敏行

TEL・FAX (0144) 36-3491

E-mail : bundankyou.matsu@aioros.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://www.tomabundankyou.com/>